



JAL不当解雇撤回ニュース

No 071号 2011.10.31
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.phenix.or.jp/jkkk/>

止めよう原発、核のない世界へ！
なくそう非正規労働、全ての争議勝利！
作いだそう 戦争と貧困のない社会を！

原告団 第25回団結まつりに参加



10月23日、前日の雨も乾かぬ亀戸中央公園。福島原発事故を口実にした解雇に雇止め、労働条件の一方的な切り下げなど、「雇用破壊」が広がるなかで、団結まつりは開催されました。



「団結まつり」は人間らしい働き方を実現させていくため、平和と民主主義の実現をめざすあらゆる闘いと連帯し、戦争と貧困のない社会を作り出す「まつり」として開催され、今回で25回を数えます。

当日は、派遣切りや、雇い止め、そして正社員の不当解雇の撤回など争議団や、支援団体、原発の安全性を主張する団体

など約5000人が集まり、原告団及び航空連からも50名以上参加しました。



原告団は農民連の協力で、ワイン等を販売。チーズカナッペとのセットで破格の300円。

公正判決を求める
要請署名は、390筆集まりました。



強い意志をもち、皆さんと一緒に闘う 飯田祐三機長の訴え

日本航空が2010年1月19日に破綻し12月31日の大晦日、165人が整理解雇されました。その内の実に90%を超える148人もの仲間が裁判に持ち込みました。これは史上まれに見る出来事です。原告団は4つの目標をたてて闘っています。まず、解雇撤回・原職復帰を勝ち取ること、そして整理解雇の4要件を守ること、日本航空が破綻した真の原因を明らかにすること、安全・安心の日本航空の真の再建を果たすことです。解雇の4要件については、裁判の場で何一つ満たしていないことが明白になっています。私達は強い意志を持ち、皆さんの大きな支援を受け、共に闘って行きます。

職場に戻り安全運航に力つく 客乗原告団の内田団長の訴え

儲け優先の経営施策の進行で職場は疲弊し、展望をなくして会社を自主退職する社員が後を絶ちません。私たち原告団は必ず職場に戻り、そして、安全運航のために一層の力を尽くします。(写真右: 舞台上に勢ぞろいした原告団のみなさん、中央で訴えているのは内田原告団団長)

